

令和2年度横浜市民まち普請事業 第81回部会 一次コンテスト 議事録

日 時	令和2年10月10日(土) 12:30~18:00
開催場所	横浜市役所18階 みなと1、2、3
出席者 【敬称略】	部会委員) 植松、岡本、加藤、川原、後藤、菅、杉崎、鈴木 事務局) 横浜市：都市整備局地域まちづくり部長：榊原、地域まちづくり課担当課長：萩原 担当係長：飯野、担当：羽賀、田口、横澤、小林 市民セクターよこはま：加世田、山田 横浜市住宅供給公社：岡部、都出、田口、土屋、高橋
開催形態	公開(傍聴なし) ※YouTubeのLIVE配信
議 題	令和2年度一次コンテスト 1 開会 2 整備提案の発表 3 審査員による意見交換 4 審査方法の説明 5 情報収集タイム 6 公開議論、質疑 7 公開投票及び結果発表 8 決選投票及び結果発表 9 全体講評
決定事項	令和2年度横浜市民まち普請事業一次コンテストにおいて、創意工夫、意欲、公共性の審査基準から以下の整備提案グループを二次コンテスト対象提案として選考。 【整備提案】<提案グループ名> ※順番は発表順 1 古民家と里山で農を通じて多様・多世代が繋がる場創り(青葉区) <寺家古民家ラボ> 2 「水」と「火」のある地域のほっとステーション(緑区) <Co-coya 復活プロジェクト実行委員会> 3 樹木医と目指す、荒れた里山を整備・活用して次世代へ(旭区) <里山再生よこはま森のアトリエ> 4 子安台の空き家を活用した交流拠点づくり(神奈川区) <空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点をつくる会> 5 車椅子でもOK! だれでも集える多目的交流スペース(戸塚区) <ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委員会> 6 スマホで繋ぐwith コロナ時代の虹色ステーション(港南区) <+α(プラス アルファ)>

選考結果	
審査基準	<p>1 創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ <p>2 意欲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体となって整備の推進に取り組む意欲 ・整備の実現に向けて、住民参加や提案の精度を高める活動に取り組む意欲 <p>3 公共性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題やニーズの的確な把握、地域への貢献度 <p>※上記審査基準を基に審査委員が各団体最大2票投票する。</p>
選考団体（投票数順）	委員講評
<p>【提案名】 古民家と里山で農を通じて多 様・多世代が繋がる場創り</p> <p>【提案グループ名】 寺家古民家ラボ（青葉区）</p> <p>【投票数】 16 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家と里山、横浜の北の地域で農業という、横浜の中ではイレギュラーな場所 で、にぎやかにしたいという熱意が伝わった。 ・古民家を多種多様な人たちが、みんなで維持し、直し、それから楽しんでいく事 を今後とも期待している。 ・これまでの活動されたときの課題をちゃんと提案に結びつけておられることに大 変感銘を受けた。 ・多種多様な方が活動に参加されている。
<p>【提案名】 車椅子でもOK！だれでも集える 多目的交流スペース</p> <p>【提案グループ名】 ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委 員会（戸塚区）</p> <p>【投票数】 16 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とても長く活動し、ノウハウを持っている。 ・地域から応援もたくさん受けているので、何も心配がない。 ・車椅子で使える施設をということで、完成後他の助成金等の計画もされている。 ・これからは人口が減っていく中で、介護が必要な方は逆に増えていく為、今回の ような提案を実現し、活躍してほしい。 ・バリアフリーの施設は中途半端になる事が多いため、しっかりしたものを作り、 デザインやアイデアにもこだわってほしい。
<p>【提案名】 樹木医と目指す、荒れた里山を 整備・活用して次世代へ</p> <p>【提案グループ名】 里山再生よこはま森のアトリエ （旭区）</p> <p>【投票数】 15 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの熱い思いや意欲が今回の結果につながった。 ・横浜市は里山が随分荒れているため、地域の人を巻き込んで、一つの見本、モデ ルをつくってほしい。 ・横浜の町の中に非常に入り組んだ形で存在している調整区域、あるいは里山、樹 林というのは、横浜の大きな課題であり、それに取り組んでいる事に敬意を表し たい。 ・地域の方を巻き込み、人数を増やすことにより作業が楽になるので、仲間づくりに 期待。

<p>【提案名】 スマホで繋ぐ with コロナ時代の虹色ステーション</p> <p>【提案グループ名】 with コロナ時代の虹色ステーション (港南区)</p> <p>【投票数】 15 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活用イメージは良かったが、二次コンテストまでにどのように具体的な提案にしていくか。 ・スマホを活用し高齢者とのコミュニケーションツールとして利用していくアイデアは良いと思うが、具体的な仕掛けや事業の検討を行ってほしい。 ・障害のある方が、支援される側から活躍するプレーヤーになることを目指している事が、非常に重要な提案だと思っている。
<p>【提案名】 「水」と「火」のある地域のほっとステーション</p> <p>【提案グループ名】 Co-coya 復活プロジェクト実行委員会 (緑区)</p> <p>【投票数】 14 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に新しいテーマを提起したと思う。そして、まちづくりに寄与すると同時に、地域の不動産市場を活性化する視点からも、今後こういう取組というのは重要。 ・地域に受け入れられてこういう形で発展してきて、大変すばらしい活動だと思う。今後、地域の方と協働し、まちづくりを行ってほしい。 ・地区の生活動線に面する今回の施設は、ふらりと立ち寄れるという形で日常的に関わっていけると思う。
<p>【提案名】 子安台の空き家を活用した交流拠点づくり</p> <p>【提案グループ名】 空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点をつくる会</p> <p>【投票数】 14 票</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用というテーマが良かった。 ・不動産の会社を営んでいる方が、地域のために拠点を提供する新しい形だと思い感動した。 ・建物の場所自体も階段の真横で面白い。階段と一体化した形で子供たちも来やすく、この場所だからこそ来たいと思ってくれる場所になるのではないかと考えている。
<p>資料</p> <p>(資料1) 令和2年度一次コンテスト整備提案集</p>	

以上